

### 【 本校の課題 】

本校の現状について

- 生徒の身長と体重が全国平均を下回る数値が多くみられる。  
特に、体重は男女ともに2～4%低い数値である。
- 全国平均に比べ平均値もしくは上回る学年が多くみられたのが立ち幅跳びである。  
反対に、全国平均を下回る項目が多く、特に握力や上体起こしなど筋持久力に大きな差が見られた。
- 運動・健康に関するアンケート結果では、毎日朝食をとれていると答えた生徒が全体の約85%以上、「週3日以上運動が実施できているか」という問いには80%の生徒が「はい」と答えている。
- 運動部活動への参加は全体の約50%の生徒がしており、部活動にも熱心に取り組んでいる。
- 勉強や運動に熱心に取り組む生徒が多い中、まったく運動をしない生徒、興味がない生徒も多い。

### 【取り組み・目標】

- 粘り強く学習や運動に集中することができる生徒の育成を目指すために、体力の定着を基本に授業や部活動を運営する。  
基礎体力向上定着のための機会を設ける。  
毎時間の補強運動や持久的運動を取り入れる。
- どの生徒も安心して受けることができる体育の授業  
運動に対して苦手意識がある生徒でも、学校体育が競技力や運動能力にのみ良い評価を与えるのではなく、共に学習する場であることを示す。  
共同学習の場を設け、全生徒が活躍の場を感じられるようにし、体育に対する苦手意識や特別感をなくす。
- 運動を多方向から見ることでできる生徒の育成  
トレーニングの効果や意義を理解することで効率よく競技力や体力を向上させることを考える力を育む。  
教員や仲間と相談しながら、自ら練習や運動に対して考えを持ち、向上しようとする意識を育てる。  
食育と関連づけて、栄養の摂り方を学び、自らの体力向上と健康の保持増進を目指す意識を育む。

(本校毎授業の補強運動の様子) →

